

山ざくら

市政市民ニュース地域版

日本共産党市会議員団

深沢・手広・腰越地域

2025年9・10月号

連絡先 常盤208 Tel/Fax 31-8180

市会議員 吉岡 和江 Tel/Fax 44-6628

梶原5-11-7 (自宅)



吉岡市会議員

鎌倉市議団ホームページ: <http://www.jcp-kamakura.jp/> E-メール: info@jcp-kamakura.jp

子ども達の居場所が欲しい

寺分にあった「深沢子ども会館」が2024年3月に閉館され、近隣の乳幼児を育てるお母さんから「子ども会館がなくなり、車で藤沢の施設に遊びに行ったりしている。身近な地域に居場所が欲しい」との声を受け、他議員とも協力し、議会でも要望してきました。

その結果、今年の5月から遊び場が一所スタートしました。名前は「遊び場寺分」、運営は梶原にある冒険遊び場を管理している団体が引き受けました。

月に2回の開催で、オープン当日は40人ほど、それ以降も毎回20人程利用する方がおり、子ども同士は新しい友達ができたり、他の友達の遊びに刺激をもらって真似してみたり加わってみたい、家の中では体験できない過ごし方をしているとのこと。

また、保護者同士も子ども



遊び場寺分に見学懇談

もたちが遊び始めたことで話す機会が増え、気軽に話せる親子が地域に増える貴重な居場所になっています。

小学校区単位で居場所の拡大を

一方で週6日開いていた子ども会館と比べると遊ぶ時間が圧倒的に少なく、開催日を増やすこと、又、



小学校区単位で居場所をつくるよう求めています。

外出しやすい環境をバス便を増して

私は自動車の返納を済ませた80代です。最寄りのモノレール駅まで徒歩で25分かかり、バスを主な交通手段としています。昨年からバスの減便が著しく、医者通い、図書館、買い物、趣味のサークルの行き帰りが大変不便になりました。聞くとところによれば、乗客減やバスの運転手不足で、バス会社の経営判断とのこと。現在昼間はおよそ1時間以上減便になるので、これ以上減便になれば外出を減らす以外なくなります。昼間のバスの乗客は少なく、

9月議会では

子ども・子育て支援金 国保加入世帯に重く

2026年度から医療保険に上乗せして徴収される子ども・子育て支援金について、条例議案が提出されました。

子育て支援を拡充しようとするれば保険料を上げざるを得ず、その範囲内でしか拡充されないとかなりかねない。また、負担額は加入する保険で異なるため、収入の少ない人が多い人より負担が増えることが起こります。75歳以上の後期高齢者や今でも負担が重い市町村国保は、現在の保険料に対

する負担増額の比率が高く、逆進性が強まります。そも

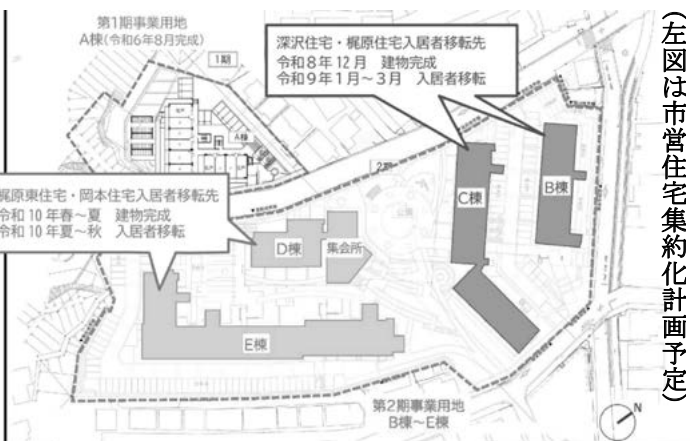
学校施設整備

山崎小学校の移転整備

も医療保険に子育て支援の財源を庶民に求めること自体が間違いではないでしょうか。支援金を社会保険料から徴収するのではなく、子育て支援は税金で行うべきではないでしょうか。

公営住宅を増やして

笛田の市営住宅と元深沢クリーンセンター用地で市営住宅の集約化が進んでいます。収入も少なく高い家賃が払えず困っている、高齢者には民間住宅をなかなか貸してもらえない等々の声が寄せられています。市営住宅増や高齢者借り上げ住宅の新設、家賃補助を行うよう求めています。



●老朽化している

学校の改修やトイレの洋式化を早急に計画的に進めると共に、

学校体育館への冷房設置工事について、市は2026年度予算化を目指すとしています。

異常な高温が続いています。1日も早い冷房設置が必要です。

●こども誰でも通園制度

各自自治体が認可した施設と保護者が直接契約を行う。保護者の都合で、預ける施設や日時を申し込む仕組み。毎回異なる施設を利用すると特定の大人との安定したかわりが必要な発達段階にある子どもにとって、強いストレスを与えることなどの懸念が保育関係者から出されています。受け入れ施設の保育士の体制も課題です。



皆さんとともに 住みよい町に②

①西鎌倉2丁目2番地先
歩道根上り対策 7か所



②梶原5丁目2番地先
舗装打替え 長さ95m



原水爆禁止2025年世界大会 (広島)に参加して 伊藤泰史

私は、8月4から6日、広島大会に参加。様々な角度や視点から「原水爆禁止」について学び、また、今後の私が進むべき道や在り方について、考えさせられました。

私が原水爆禁止世界大会に参加するのは、初めてです。鎌倉原水協から派遣された私にとっては、「大切な仕事(業務)」に携わっている、という意識を持ち続けて過ごす3日間でした。

1日目と3日目の全体的な会合では、他の参加者と共通の時間を過ごし、被爆者の体験談を聴くこともできました。

2日目には、自分が選んだフォーラムや分科会に参加し、それぞれのテーマに沿った視点から、考えを進めることができました。私が参加したのは、午前中が「フォーラム2 戦争も核兵器もない世界へー議員と市民の国際連帯」で、午後は「分科会2 非核平和の日本とアジア」です。

また、3日目の朝には、原爆投下の時刻に爆心地近く(平和記念公園)に身を置いて、80年前の出来事に思いを馳せ



原水禁大会報告会で発言



広島原爆ドーム

ました。3日目の午後には、広島平和記念資料館を訪れ、写真や絵画、様々な遺物などを通じて、主に人々の営みの面から、原爆投下の実相に、想像力を駆使して向き合いました。

以下には、私が広島市で過ごした3日間の中で、特に心に強く残った内容を、箇条書きで挙げます。

○世界の様々な国々からの参加者と、時間や空間を共有できたこと。

―核廃絶や平和の実現、という共通の目標や意識を持つ人々と、同じ場に身を置くことから、「これからの自分」が為すべき使命を、自然に感じ取ることができました。もちろん、日本中から参加した多くの人々の姿も、私に「これからの歩み方」を示してくれました。(次号に続く)

SNSで拡散される排 外主義の嘘を見抜こう

津西在住 本多ミヨ子

先の参議院選挙で、大々的に繰り広げられた外国人排斥のキャンペーン、外国人の労働組合の活動を通して実情を知っている私にとっては、「なんでこんな馬鹿な事を堂々と発信するのだろう」と思うことばかりでした。

一番はつきりしている例は、「外国人の国民健康保険の滞納額が1年間で4700億円」というもの。実際は日本人を含めた全体の滞納額は1457億円で、これは厚生労働省の発表ですから、ちよつと調べればすぐわかることです。

ですからこの嘘をふりまいている人たちは、無知なのではなく確信犯です。

「生活保護受給者の3分の1が外国人」というのもありました。実際は3%未満です。生活保護は「日本人であること」が条件のひとつになっていて、外国人は「人道的に配慮すべき特別な事情がある場合」だけ、権利ではなく、恩恵的に受けられるのです。ですから受けられるのは日本人の夫が死亡して生活困難に陥った「永住資格」を持つ人など、ごく一部です。それでも日本人が付いて行ってお願ひするなどしなくては、なかなか受けられません。3分の1が外国人など、悪質な嘘です。

でも、これが繰り返し流されれば、事実を知らない人は真実だと思ってしまうでしょう。その結果が、参政党などの議席増となってしまうことは見逃すことができません。

消費税減税で暮らしを守る

では、どうすればいいのか、考えなくてはなりません。
(以下次号)



8月28日東急前で消費税減税を求める署名行動

被爆80年

核兵器廃絶署名や被爆の実相を伝える行動が行われていきます。



高校生が被爆者からお話を伺い書いた原爆図 鎌倉地下道や市役所2階で掲示



地下道で署名行動。右は吉岡議員議員

暮らしに役立つ情報

鎌倉スマイルフードプロジェクト

生活にお困りの方へ食料パックをお渡しします。物価の高騰などから、多くの方々が生活に困窮し過ごされています。もしあなたが、「おなかがいっぱい」な状況にありましたら、食料パックを受け取りにいらしてください。仕事や生活の相談もお受けします。

実施予定 9月27日(土曜日)正午から午後1時 大船支所1階ロビー

注 当日は天候等により、中止となる場合があります。公共交通機関でお越しください。

詳しくは、鎌倉市役所生活福祉課又は吉岡市議までお尋ねください。

○寄付についても随時募集しています。



生活相談所

市政へのご意見、ご要望をお気軽に寄せてください。

吉岡地域深沢事務所
毎週(火)1時〜4時

鎌倉市常盤208

(深沢小学校バス停前)

TEL・FAX (31) 8180

(44) 6628 (吉岡)